

令和7年度 奥越明成高等学校 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
・スクールポリシーを踏まえた評価となっているか

(意見を聞いた方)
奥越明成高校 PTA役員9名

○教育課程・学習支援

- ・どの学年も学習指導・支援ともに成果を感じているのが分かる。可能な限り生徒、保護者の満足度が上がるような改善策・向上策を考えて欲しい。
- ・各項目についての改善点を明確にして生徒の学習意欲向上に努めている。

○生徒支援

- ・満足度が高く充実した支援が行えており、成果が出ている。

○進路支援

- ・学年が上がるにつれ進路に対する意欲関心が高まっている。
- ・生徒個人による情報収集や、家庭での保護者との話し合いができています。
- ・就職だけでなく進学支援についても積極的に取り組んで欲しい。
- ・機会があるごとに奨学金制度などの話をして欲しい。
- ・1年生の2学期から進路希望調査を始めていることは生徒にも保護者にも良い効果があると感じる。

○保健・安全支援

- ・生徒自らが自分の健康管理をする力を育てていけるとよい(睡眠時間・食事摂取の有無・ストレスチェックなど)。
- その第一歩として、健康観察は良い手段である。

○図書支援

- ・高校生は読むきっかけが少ない。改善策として、進路関係の本を設置するなど、生徒の興味を引くような蔵書の充実を望む。教職員の推薦本紹介などを取り入れてはどうか。

○専門支援

- ・すべての学科において成果が見える。地域との交流や学校訪問などが良い経験になっている。
- ・専門分野への支援に注力していることが評価できる。
- ・個人に合わせた支援をしていることがうかがえる。

○全体(総括)

- ・「ほとんど出来なかった」「無答」と答えた生徒に対してどのように個別の対応やフォローをするか課題である。
- ・生徒数減のため、小規模クラスに対応した支援の必要性を感じる。具体的な対策を検討すべき。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

学校関係者からの評価を各部署でよく検討し、共通理解をはかり、具体的な改善策や向上策を策定し実行する。